

情勢報告（平成27年 5月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

環境制御技術導入に向けた準備が始まりました！！



4月28日、J A土佐くろしお資材センターにおいて、環境制御機器に関する説明会を開催し、J A土佐くろしお、J A四万十、県関係者、環境制御機器メーカー7社併せて約70名が参加しました。

環境制御機器メーカー各社から、自社の製品の特長や導入価格などについて説明があり、多くの質問や要望がありました。また、県産地・流通支援課からは、環境制御技術導入加速化事業の説明があり、関係者の間で事業実施に向け知識の共有ができました。

今後、J Aと連携して5月26日に農業者を対象に環境制御技術の成果発表会を開催します。

施設ミョウガの腐敗防止



5月12日、J A土佐くろしお資材センターで、第1回ミョウガ腐敗防止対策プロジェクト会を開催し、J A土佐くろしお、農業技術センター、専技、生産者代表が参加しました。

農業技術センターのこれまでの取り組みと今年度の取り組みが紹介され、J Aや生産者とともに実施する取り組み内容を検討しました。

この検討結果をもとに、生産から出荷までの作業環境実態調査を進めるとともに、その解決のために生産者や関係機関の取り組みを支援して行きます。

チャトゲコナジラミ県内一斉調査



4月27日、津野町にて茶の新害虫チャトゲコナジラミの発生状況調査を開始しました。他県では荒茶への成虫の混入や幼虫が排泄する甘露によるすす病が品質低下を招く他、摘採中の作業者への吸引等、品質・作業性の悪化が問題となっています。

今後もつの茶の安定・高品質生産を支援するため、11月までチャトゲコナジラミ及び天敵のシルベストリコバチの発生状況を追跡調査していきます。

「土佐甘とう」生産者交流会



5月20日、南国市でJ A津野山シシトウ部会とJ A南国市管内の生産者の現地交流会が開催されました。J A津野山からは生産者9名が参加し、昨年の試験結果や今年の栽培管理についての検討が行なわれました。

農業改良普及課は、昨年の尻腐れ果の発生状況とハウス内温湿度調査の結果を報告し、高温が続く場合や急な高温での尻腐れ果発生防止を指導しました。また今年は仕立て方法や被覆資材の効果も検討する予定です。

秋にはJ A津野山管内で交流会を実施する予定で、今後J A営農指導員と準備を進めていきます。

普及指導活動の効率化に向けて



５月２２日、須崎総合庁舎で第１回農業改良普及推進協議会を開催し、新たな委員を含む１６名が参加しました。

農業改良普及課から、産業振興計画の動きと平成２７年度普及指導計画の概要等を説明し意見交換を行いました。

委員からは、ＩＰＭ技術の普及や連作障害対策、水利施設等の老朽化対策や担い手の確保に力を入れて欲しいなどの意見が出されました。

今後とも委員との連携をさらに強化し、より効率的な課題解決に努めます。